



いい
くう!!

口も膣も肛門まで
止まらないの快感!

ケツ穴エツロワ

この目を見る為
私がクラスメイトに
身体を許していたことを
彼は知らない

快感=彼氏3

~私はMなんかじゃないっ!~

フルカラーCGコミック

——やっぱり私は
判断を誤ってしまった
んだろうか

ダ
ム
ダ
ム
ダ
ム

性欲を否定する気はないけど
男（ゲスな）の欲望を甘く見て
しまったのは確かに失敗だった：

進学が決まり大学では彼氏が待っていて
残りの高校生活を無事に過ごしている、
外見上はそんなフリをしていますが
その失敗は私をどんどん蝕んでくる

この日は体育の授業があつて――







快感ニ彼氏3

～私はMなんかじゃないっ!～



こっちだ・
遅えから来ねえ
かと思っただぜ

ソッコーで
抜け出して
待ってただぜ
持久走なんて
やってられかよ

こっちはバスケ
なのよっ
簡単に生まれ
ないでしょ
アンタらと違って
私は目を付け
られたくないの

推薦つっても
サボりくれえ
どうってこと
ねえだろ
校則違反に
比べりゃな

っもう
いいでしょ
ちゃんと
来たんだから

校則違反を見られたこと
から始まったコイツらとの
身体の関係が益々ヤバイ

まあいいって
時間がねえから
早くやろうぜっ

ああもうっ!
こんなところで
やめてよっ

やんなきゃ
何しに来たっ
てんだよ

そ、それは
断りに来たのよ
すぐ戻るわ

図に乗ったコイツらが
授業中に呼び出した魂胆
なんてわかりきってたけど

桃香汗かい
てんじやん
イイ匂い

臭ぐな
キモいっ!
絶対イヤっ
やらないわよっ

んなわけねえよな

断れねえの
わかってっから
来たんだろ

深みに嵌って拒否でき
ない自分が情けない

くっ...



お尻は免れたけど
それ以上は
拒否できなかった

壁一枚隔てた向こうで
クラスメイトが授業してるのに…
そんな状況でこんなことする
なんてどう考えてもヤバすぎる

んん
んん

こんなとこ誰かにに
見られたらもう終わりだ
私は気が気じゃなくて
冷汗が滲む思いだった

んっ!

バカバカーっ

こんな屋外でなに
脱がしてんのよおっ
誰かに見られたら
どうすんのおーっ

3!8んっ

ヒヤハッ

桃香の乳首
ビンビンじゃんっ
やっぱ学校だと
興奮するよなっ

んうう
んっ!

ぐ
い
い
い
い

ぐ
い
い
い
い



へへ、白北がこんな
ことしてるなんざ
誰も思ってたねえ
だろうな

出すぜ
出すぜ

学校でやんのって
やっぱサイコー
じゃんっ

クラスの
人気女子に
授業中
中出しーいっ

こんな状況で快感を感じる余裕なんて全然ないはずなのに...なのに
身体は条件反射のように快感を感じ始めたたちまち絶頂に近づいてく
ここ最近の頻繁なセックスでイキグセがいついてしまってるみたいでマジヤバイ



ああっ、ダメっ
気持ちイイ...
イイ...

でもこんなところで
イクのは...

嫌ああーっ

うんうん

うう





おっ

お

おっはっ!

う

ううっ

うくうっ!

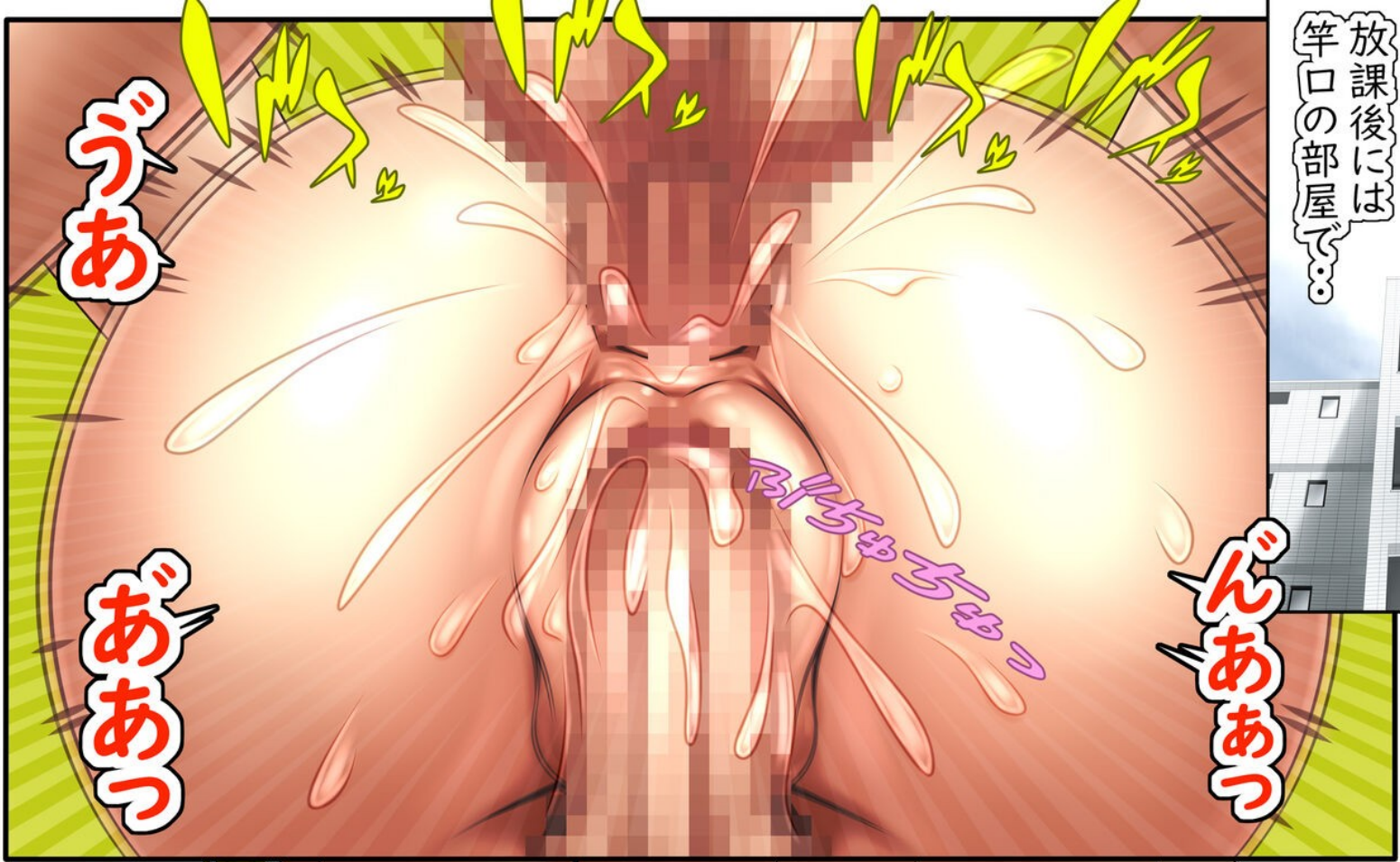
うくうっ!
うくうっ!

うくうっ!
うくうっ!



力任せに擦っただけだったのに案外上手くいったようで
(手に残る感触はきわめて不快だったけど)
この場合はそれ以上の痴態を晒さずにやり過ごすことができた

放課後には
竿口の部屋で……





ダメっ

くうううううーっ!

コイツら相手にいきたくないのに
この日も無理やりイカされてしまった

膣と肛門でいっちゃうと
下半身に重い快感が残って
身動きがとれなくなってしまう

こんなことではダメだと思うのに



こうなるともう抵抗
する気力が湧かなくて
一度では満足しない
コイツらに身体を
好き勝手される始末：



オレは
やっぱ
口だな

人気あつて
お高くとまってる
ヤツに啜えさせん
のが堪ねえぜ

んおっ



へへ

桃香のケツって
締めよくって
メチャ気持ちいいっ

ほんとクセ
になんぜ

ううっ

そればかりか
この日はもつと
ヒドイことに
なってしまった

けどよお白北あ
マンコが空いてちや
物足りねえだろ

もう一本
欲しいと
思わねえか？



ううっ!?

おっ、バイト
先のやつか

ああ、
白北に使う
みたくな

いいじゃん
いいじゃんっ

さっそく
使おうぜ!

私は
イヤよっ!
自分の
お尻に入れ
なさいよっ!
何で私に
使うのよっ!

ガバッ

バカじゃ
ないのっ!

ムチャ言
うんじゃ
ねえよW



そ、それって

竿口はアダルトショップでバイトしてるらしくて前も手錠みたいなものを持ってきたけどまさかこんな卑猥なモノまで持ち出すなんてコイツら本当にイカしてるっ!

ムチャは
どっちよっ
絶対
ダメーっ!

オレ

さすがにこれには
渾身の力で抵抗したが





うっ
うっう

うっう
うっう

早いも遅いも
ねえだろ

そうそう
みんな
使ってんぜ

みんなって
誰よおっ



うあああつ
ダメまっつ

そんなの
私が使う
モノじゃっ...

は？
どういう
意味だよ

ま、まだ
早いって

ぐいっ
ぐいっ



へへスイッチ
入れっと動く
んだぜコレ

カチチ

あつ

あつ

うああ
あああ

私の常識ではこういうアダルトグッズは
普通のセックスで満足できなくなったような
熟達の人を使うモノで私みたいな素人が
使うモノじゃない、そうでしょ？ そうよね？



イイイイイイ

イッてる
イッてる
オモシレえな

だめえ
イいうっ

ジュジュ

イイイ

もっとも敏感に感じる急所と言えるようなクリトリス
への直接的な振動は全身に電気が走ったような感覚で
コレ一発でぶっ飛んでしまうのに充分な刺激だった

ジュジュ

ジュジュ

ガクガクガク

ああっ

うう

あやっ

あやっ

めっちゃ気持ち
よさそーじゃん
いいよな女は
感じるトコ
いっぱいあってw

ジュジュ



おっ
おっ
おっ

コイツらはホントに容赦がなくて
それから無茶なことをされ続けた私は

いいぜえっ
期待以上の
反応してん
じゃねえか！

おらおら
もっといけよう

うばおう

ガクガクガク

イキイキ...

ズキッ

んおっ！
うおっ！

ぐ

ヒヤハハッ
イけっ！
イけっ！

おっ...

正気を保てなく
なった末に...

う

うん

ズルズル

ウハッ

イってるイってるっ
スッゲえいき方っ！

ケツ穴エッロっw

クハハッ

うおぼおおう

!!!!!!

ヤツらが上下から見ているところへ激しく肛門を突き上げてイってしまった
こんな恥も外聞もない恰好は先輩はおろか絶対誰にも見られたくない
思い返すだけでムネが悪くなりそうなほど恥ずかしいいき方だった



この締めりに
この振動メツチャ
気持ちいいって！

クセになんぜ
すっと挿入れててえっ

こんなこと
させてくれんの
桃香だけだぜ

もう時間も遅えぜ
いい加減にしとけよw

あっ

ああっ
それだめえ...

もう
だめえ...

うあっ

受け入れちゃいけない快感だと
いくら頭で思っても
私の身体はイカされてしまう
それはもう否定できない

だけど快感に溺れて自分を
見失うのだけは絶対にイヤッ！
そう思っていた矢先なのに

この日もまた何度もイカされて
何も考えられなくなるまで
追い込まれてしまった

コイツらホントに許せないっ
お尻に挿入られるだけでも
充分ヤバイのに卑猥な道具まで
使われたら...

正直に言うとか先行きが
不安になるばかりだった

そして
数日後には

懸念が現実になっ
てしまった

スマイッ

!

今日はこいつ
を使うぜ

ニヤニヤ

他にもあんな
色々楽しませ
てやつから

やらない
わよっ!

バカ言わ
ないでっ

絶対
イヤよっ

アンタらの
相手をする
約束だけど

そんなの
使っていいなんて
言っていないっ!

やりたくもないセックスの相手をしてやってるんだから
勝手に気持ちよくなってるばいのにどうして私まで
イかせようとするのか理解できない、道具まで使って
私に恥をかかせて楽しんでるなら本当にタチが悪いっ

ただのマツ
サージ機だぜ
勘違いし
てねえかw

まあそう
言うなよ

気持ちよく
なれんだから
別にいいじゃん

ガシッ

嫌なものは
イヤなのっ

チツやっぱ
こうなるか
しょうが
ねえな

ホントに
嫌なんだって
あつ、また

ち、ちよつと
何すんのよっ
やめてっ
やめてっ!

やめて
外して
イヤあああ

っ!

今日は
帰る!

ああもうっ
離してよっ



カチカチ

く、また
こんな：

オレン家から
持って来たんだぜ



これって
ぶら下が
るやつ：

こんなのまで
用意しとくなんて
ゲスっ！
卑劣者っ！

ひでえ言い
ようだなw

けどホントは
期待してんだろ？
何たって白北は
Mだからな

Mっ!?
何よそれっ

私そんな
じゃないわよっ！

そうかあ？
嫌がりながらよがって
んだからマゾだろ

そんな
わけない
でしょっ！

パッサッ..

違うわよっ
絶対違っ：う！

いい加減
素直になった
らどうだ？

あ、それは
オレも思ってたぜ
桃香ってMだよなw





ちがつ

本当はゲスな男に
無理やり嬲られる
のが気持ち良くて
しかたねえんだろ

う...

認めちゃった
方が楽しめんぜ

意地っ張りな
桃香がマゾ牝うw
サイコーじゃん！

へへんなこと
言わないでっ

私はそんな
じゃないって
言ってるでしょ！！

ほら、もっと
腰出せよ

そんなんじや
気持ちよく
なれねえだろ

それとも
ケツ穴舐めて
欲しているか？

ダメ、ダメっ
お尻はダメよっ！

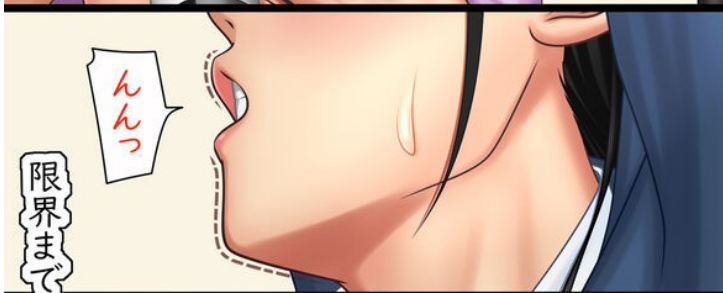
ケツ穴嫌がんのも
マゾが刺激されっ
からじゃねえのか

確かに口惜しいとか恥ずかしいとか嫌なことをされると強い快感が跳ね返ってきてるけど私はそれで悦んだりしてないし自分がマゾだなんて考えたこともないっ



なのに見透かしたような顔でマゾ扱いするなんてこんなこと言われて簡単にイカされたら私が本当にマゾみたいじゃないっ!

そんな屈辱的なこと絶対ゴメンだから腰を捻って急所(クリトリス)を逸らして



へへ、すぐイくと思ってたのに意外とネバるじゃねえか
けどその方オモシレえ
次のがあるからな

次...?

あぁあっ!

!!

!!

!!!!

ハハ、何これ
どういう反応?
桃香、固まっちゃ
まってんじゃん!

この卑猥な道具は今までにないほど奥まで挿入できて、まるで串刺しにされたような感覚だった
身体を動かすどころか声を出すことも出来なくて気持ちイイのかなんて初めはわからなかったけど
それが奥底から湧き上がるような快感になっていた

気持ちよ
すぎて声も
出ねえか?

コレで突かれたって処女
でもイけらしいから
今の白北なら
イチコロだろ

そんなに
スゲーのかっ

オモシレえ
オレにも
やらせてくれよ!





なあ
白北

オメえ今
最高にマゾっぽい
顔してんぜ

写真撮って
いてやるよ

この顔
彼氏が見たら
どう思う
だろうな？

カ
シ
メ



このときの私はもう
何も考えられないし
何を言われてるのかも
よくわからない状態で！
でも印象的な言葉だけ
は頭を駆けめぐって！



すげ

メツチャ
濃いまん汁
出てんじゃん！

これって
子宮から
出てんのか？

さあな、けど
この反応だ
感じてんのは
確かだろ

もっと盛り
上げてやるか



何を言われてるかも理解しないまま
一気に上り詰めてしまった！

イ・イ・くっ！

ゲスな男に騷られて
最高に気持ちいいんだろ
顔に出てんぜw
彼氏のこと言われて
アゲアゲになってんじゃねえのか
大好きな先輩に
白北がこんなマゾ牝だって
バレたらどうするよ？

ギ
シツ

ウヒヤヒヤア
いったいったあつ！

ガ
ク
ガ
ク
ガ
ク

子宮でいったのかどうかなんてわからなかったけど
とにかく奥を刺激される快感は強烈すぎて
何を言われているのかも理解できないほどテンパってた私は
嘲笑されているのもお構いなしに激しくイってしまった

イ
っ

ひ
っ

ひ
いっ

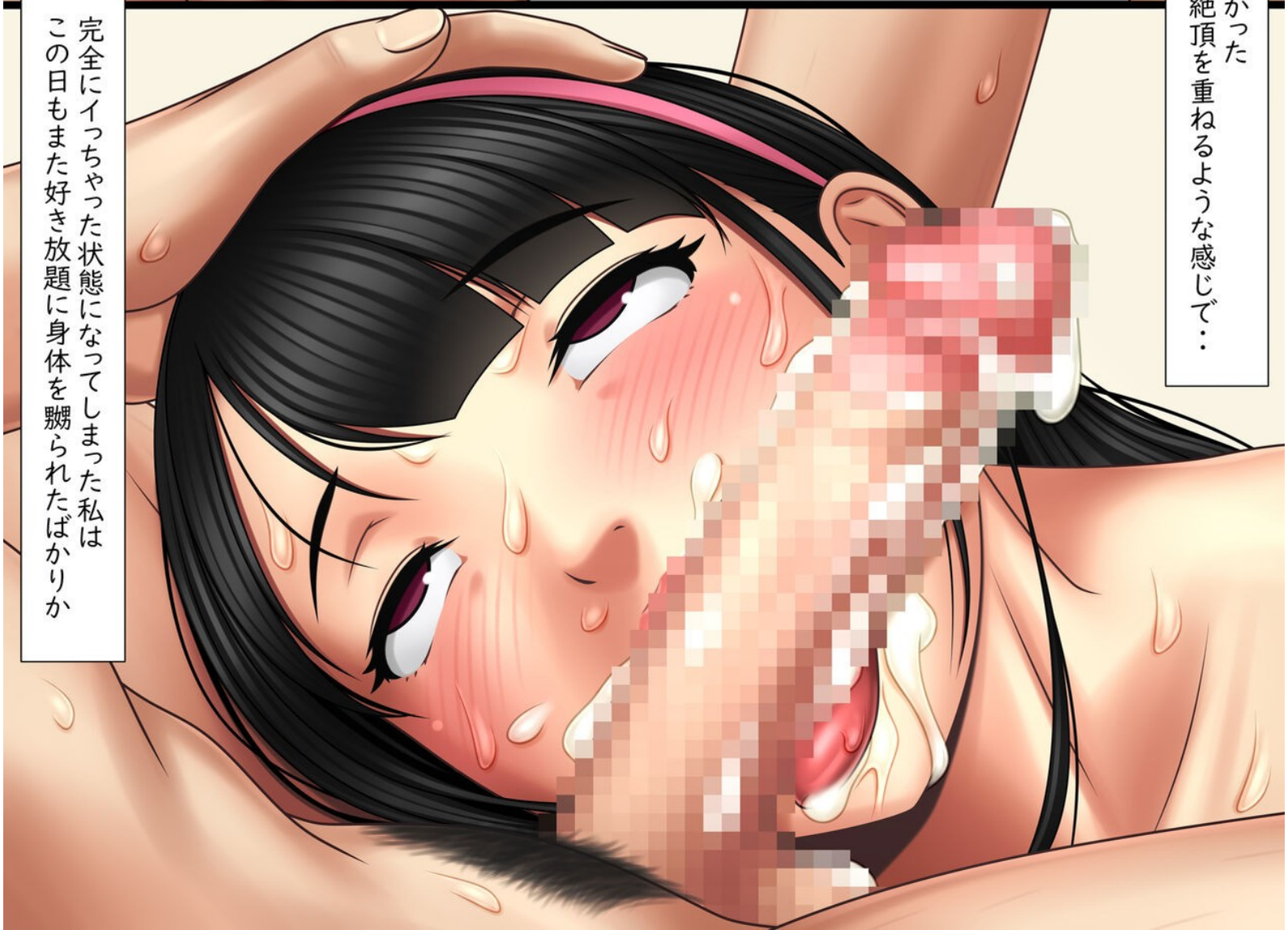
ひ
い
い
い
ー
っ
！
っ
！

ハっ！
バレたら
いくってかっ
それじゃ
マジものの
変態マゾだぜ
白北っw





奥を刺激されていくと絶頂時間が普通よりずっと長かった
それに加えてお尻にまで挿入されるともう絶頂に絶頂を重ねるような感じで・



完全にイっちゃった状態になってしまった私は
この日もまた好き放題に身体を撈られたばかりか

挙句には

なあ白北
子宮バイブの詳しい
感想聞かせてくれよ

バイト先から貸し出す
代わりに紹介記事用の
リアルな感想が欲しいって
言われてんだよ

ハア？
何言ってるのよっ
何で私が
そんなことっ
アンタが勝手に
借りてきたんでしょ
私には関係ないっ！
無理やり
突っ込んでいて
よくそんなことが
言えるわねっ

協力してくれねえと
代わりにオメえの
写真載せちゃうぜ
いいのかそれで？

なっ…

レビューまでさせられてしまった
コイツらホントあり得ない…

後日

何よこれっ
私こんなことまで
言っていないでしょ
これじゃド変態じゃないっ
それにココッ！
何でマゾって
書いてあんのよう
私はマゾじゃないって
言ってるでしょ！

＊商品紹介＊
子宮世界バイブ 昇天姫
使用者 T・S (現役JK)
このバイブは本当に凄くて普通の男性のもの
よりもずっと奥まで届きました、子宮がグイ
グイ押されもしかすると子宮の中まで入って
きてたかも(☆▽☆)子宮をこれで激しく刺激
されると身体の奥底から熱くなってくる感
がしてもう堪りません、私は初めて挿入され
きから声も出せないほど感じてしまってバイ
ブが振動するともうイッパツで昇天(*'▽'*)
このバイブで子宮イキしてしまうと何も考え
られなくなってしまうその後はされるがまま
に(〃▽〃)マゾな私にピッタリのバイブなの
ですがそうでない人もこれなら絶対に昇天出
来るとおもいます。最高の快感を味わってみた
性はもちろんですがパートナーをもっと
女性にもオススメです☆☆☆☆☆

まあ、落ち着けて
紹介記事だからよ
多少脚色してあんだよ

実名じゃねえんだし
気にすんなってw



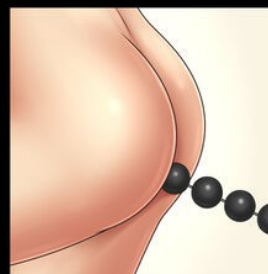
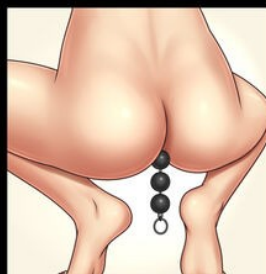
相変わらずのレビューはヒドイ脚色というかもはや創作レベルでこんなのなら私の感想など必要ないっコイツらは私に恥ずかしいことを無理に言わせて楽しんでるだけに違いはないっ！

竿口が持ってくる道具はどれも卑猥な快感を容赦なく与えてくるものばかりでそんなのを頻繁に使われる私は堪ったもんじゃなかった

使用者 T・S (現役JK)

お尻の穴に1コづつ押し込んでいくときから期待感がハンパなくて震えるような快感を得ることができますがこれのスゴさはやはり引き出すときです！玉が肛門を押し広げながらニルッとしてくるときの快感は目眩がするほどで身震いと共に太い喘ぎ声が無意識のうちに出ちゃいます(〃▽〃)そして一度すぼまった肛門からまた次の玉が！これが繰り返されるのですからもう堪りません、たぶん本能

的な快感だからだと思いますが私など涎を垂らして身悶えてしまいます。我を忘れるような刺激が欲しいと思う方に超オススメです！



そんなことが
続きついには
学校でまで：

この日は登校前に
呼び出されて
卑猥な道具を装着
させられてしまった

今日は
これ付けて
学校に行っ
てみてくれよ

コイツらは私が断れないと思って
ムチャなことを平気で言ってくる
こんなの本当は言語道断だけど
あの屈辱的なレビューを二度と
しなくていいという条件を出され
て嫌々ながら承知してしまった
内心を言うと小型バイブを
ただ入れてるだけなら
まあ耐えられるだろう
という甘い考えだったんだけど！

ちよっ
締めすぎっ

カチッ

よし、これで
外せねえぜ

鍵!?

こんなの
付けてたら
トイレも行け
ないじゃない

午前中だけで
かまわねえ
そんなくらいなら
我慢できんだろ

最新式で音も
ほとんど無えし
安心していいぜ

音!?

これ
動くの!?

動くぜ
試してみるか?

リモコン!
はうっ!

わわわわ
わわわ

ムリムリムリ
こんなの絶対
ムリだっつー!

WWW
もう時間無え
から行こうぜ

ウァア
まってまって
せめて先に
トイレにつ

時間無えって
遅刻したか
ねえだろ
さっさと出な

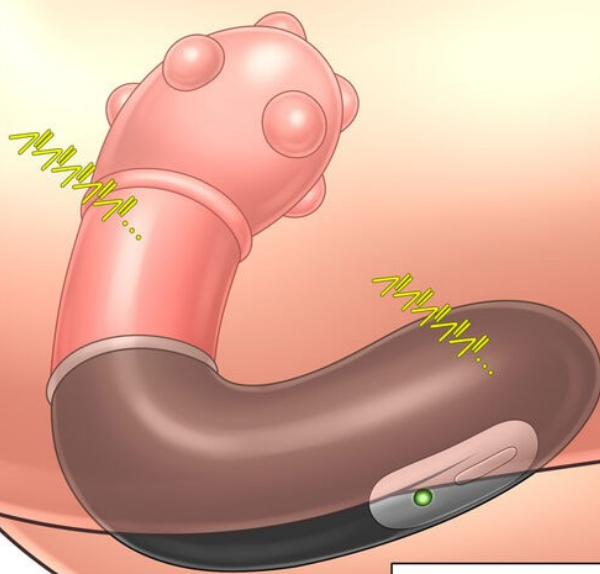
そして
学校

竿口の部屋を追い出され
ヤツに見張られながら
教室まで来てしまったけど

私は激しく
後悔していた！

ヤツの言いなりになって
鍵まで付けられてしまう
なんて迂闊だった

それに加えて
このバイブは...



ううっ
座る姿勢は
余計にヤバい...

膣内で小刻みに振動する部分が
気持ちよくなっちゃうところに
的確に当たってるばかりか
クリトリスに押し付けられてる
ところにも仕掛けがあるみたいで
ピンポイントで痺れるような
刺激を与えてくる

三時限目までは
たまにスイッチを入れて
私の反応を楽しんでる
感じだったから
まだ耐えられたけど
四時限目からは
ずっと動きっぱなしに
されててもの凄くヤバい

何とかして
止めさせたいけど

(いつも遅刻するくせに今日は朝から来てる)
内尻と二人してこちらを
見ながらニヤニヤするばかり

キラ...

せめて急所から
ズラしたいけど
かなりキツく
締め付けられたし
簡単にはズラせない
そもそも授業中に
股間に手をやるのは...

あああっ
もう、くる！

日くらし……
っ硯に向かひて

イクイク
イクイクイク

イクうつうつうつ!!

ついに私は授業中に、クラスメイトの中で、まさか音読中に、イってしまった！
全身に気の遠くなりそうな快感が駆けめぐり頭の中も真っ白になりかけたけど
とにかく表に出さないことだけに全精神力を振り絞って何とか踏みとどまった
(そらで言えるほど有名な一文だったからたぶん読めていたと思いたい)

313 313

313333

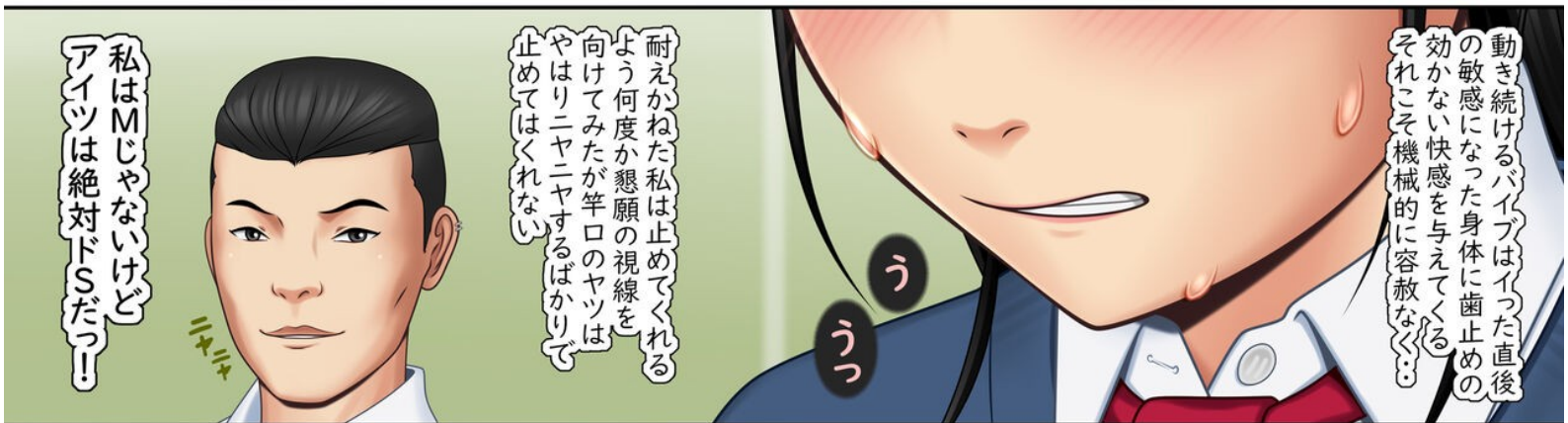
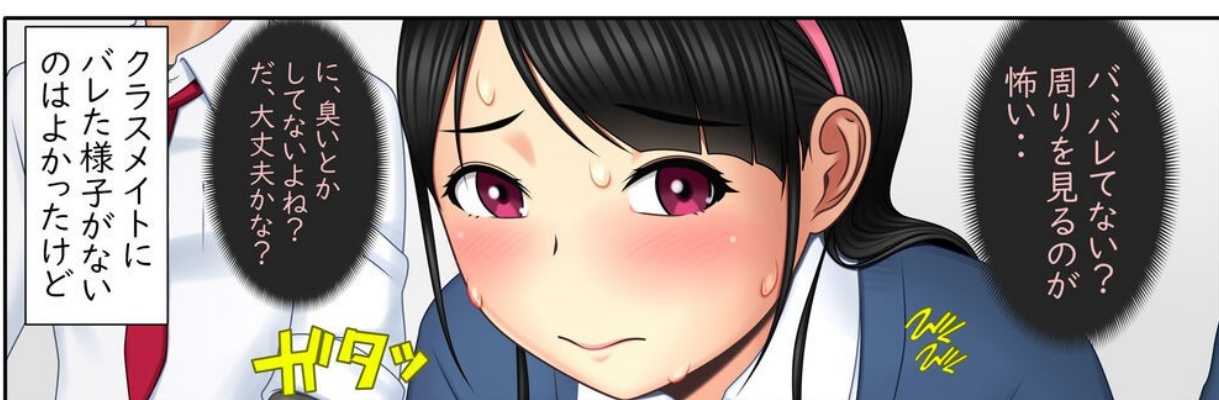
心にうう
つりゆく

313333

よしなし
ごとを：

ガッガッ

たろろ



昼休み
体育倉庫

も、もう
もう無理っ
早く鍵外してっ！

くね
くね

もい
もい

トイレに行きたくて
もう限界なのよおっ！

普段のオメエしか
知らねえ野郎共が見たら
鼻血もの格好になってんぜ

クラスメイトの
前でイって興奮が
治まらねえっか

ヒヤハハ
なんかエロエロに
なってるじゃん

へへ、今日は
すぐ来たな

それでよお桃香
何回イった？
3回だよな
竿口と
賭けてんだよ

オレなんて
見てるだけで
ビンビンになっ
ち
いいからっ
ハッ

けどメツチャ
エロかった！

意外とわか
んなかったぜ
必死になると
隠せるもん
なんだな

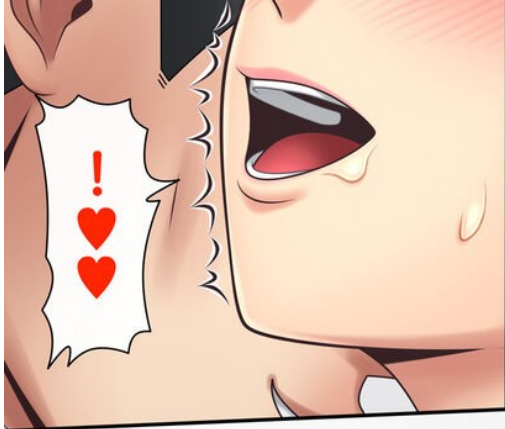
鍵どこよっ

午前中だけの
約束でしょっ

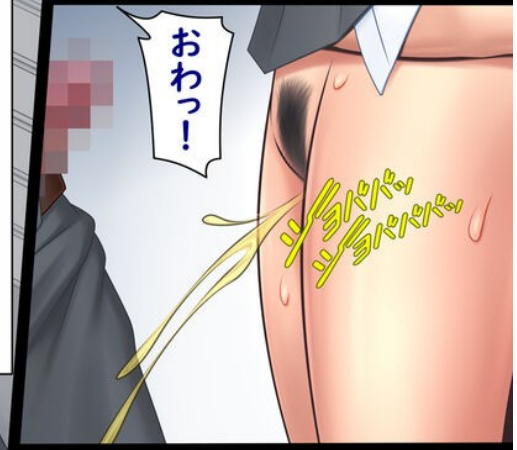
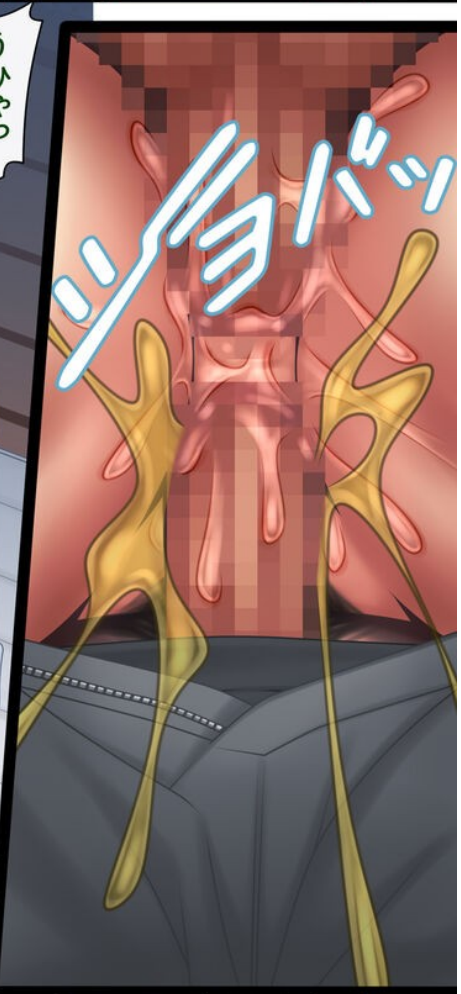
早く
とってよ！

とってやるけどよ
チンポと入れ替え
だぜw

！



午前中の間ずっと快感をガマンさせて余裕を失くした私を学校で犯す
コイツらの狙いなんてわかってたけどこのときの私はそれどころじゃなかった
確かに感じ過ぎるくらい感じてはいたけどそれ以上に尿意がマジ限界だった！
ちよっと動くだけでも膀胱がやばい状態だったのにコイツらは！



こんな悲惨な状況になつて、それでもやめないのだからコイツらは筋金入りのゲスだ

うぼお

バク

なあ、それで授業中にいったのは何回だよ？

教えてくれよお

授業中にいったこともそうだけど

それよりどっからジャージ持ってきてくれよ

雑巾もいるなこりや…

もう抗う気も失せて結局また私の身体を使って射精されてしまった

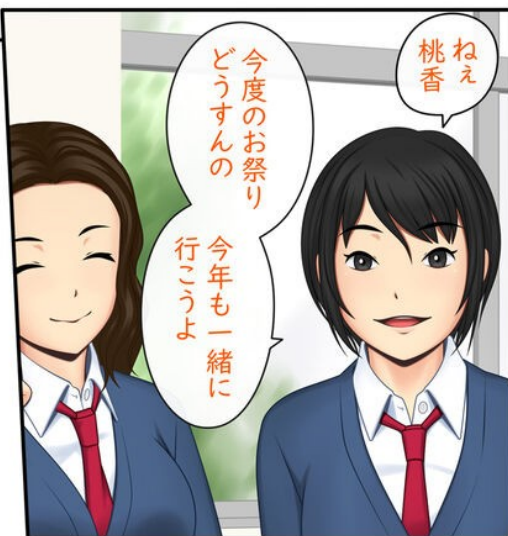
校内で失禁までしてしまうなんてとんでもない黒歴史がまたしても…

2

3/3

4/4

ゲスなクラスメイトと秘密の関係を持ってしまったことがそもそもの誤りだけど
恥ずかし過ぎる失態を何度も晒してしまっている(全部アイツらのせいだけど)自分がみつともなくて嫌になる・
それでも：それでも気を強く持ってやり過ぎうちに卒業の日は近付いてきているのだから
今はこの関係が他の人にバレないようにすることとヤツらに約束を守らせることが私にとってもっとも重要だった



けど：

あれから度々学校でバイブを
装着させられるようになって

ハハ、
ゴメンね

こんな変態行為に慣れてき
てしまっているのはさすがに
マズいかもしれない(汗)

この日、私は
予定どおり先輩と
デートに来ていた



アイツらのことがあるから
先輩に対して後ろめたい気持ちは
拭えないけど、このときばかりは
素直に楽しみたいと思っていたのに

なのに予定どおり
じゃないのが
股間のパイプと
付いてくる間男

初めて学校に付けて
行ったときの刺激の
強いやつ

イヤよ
今日は
イヤッ!

そうは
いかねえ

まあ今回は
野外だし
鍵はしないで
おいてやるから



けど勝手に
外さないよう
見張ってんぜ

まさかアンタら
付いて来る気?
やめてよ
気持ちワルいっ!

オレは行か
ねえがコイツは
ヒマなんだとよ

なんでよっ?
彼女いるんで
しょ、そのコと
行きなさいよ

あー、あんな
ブスもう別れた



何か他とやって
んの勘づいたみたい
でうるさくてよ

う・これだけ
やって気付
かれない方が
おかしいわよ

あんた女
ナメ過ぎ

まあ、そう言う
ことだから止め
ても無駄だぜ

・はあ



バレねえよう
離れてっから
大丈夫だって

絶対よっ!

先輩の前でまで
あんなヤツらの言いなり
になるしかないなんて・

本当に
ゴメンナサイっ



実は股間のバイブは
先輩とここに来た直後から
軽い振動で動かされている

秘かに愛撫されてるみたいで
ジワジワきてはいたけど
それでもデートの
邪魔をされなくなかった私は
何食わぬ顔をしてやったし

むしろ微妙な快感でテンションが
上がっていったくらいだ
(ヤバイけどこれは慣れかも...)



だけどそれも
限度があった
悪戯に強弱される
ともうヤバすぎる



!?
やっぱりこんなの
付けて歩き廻る
なんてムリだった!



不覚にも動けなくなってしまうばかりか
ヨロめいて先輩に抱き留められた私は...

っと!
白北
さん??



これって今
先輩の腕の中?



こ、これは...
...くるっ!

初めて好きな人の腕の中でいった！
心から気持ちイイと思える瞬間だった
これは強制された変態行為の結果だけど
それでも私にとって最高の快感になった♡

だ、大丈夫？

白北さん？





あ！
気付いてみると内尻のヤツは
かなり近くにいた！
バイブを止めてくれたのは
ありがたかったけど...



何？来い
ってこと！？

くっく

アイツこんな
近くで... いくら先輩と
面識なくても
近付かないって
：！？



と、止まった：



ああっ♡♡
気持ちいい
気持ちいい：
今すぐ先輩と
セックスしたい！

あああでも
それより
ヤバいつ
ヤバいつ

バイブがあ

バイブが感じ過ぎ
ちやて動けないっ
もう立ってられないっ

ハワハワハワ

ひ
ひ



私、ちよっと
お化粧直し
できます

たた

あっちに
休憩所が
あるので

先輩は
そこでっ

ホントに
大丈夫なんで
絶対そこで
待っててくださいねっ

内尻のヤツなんか無視してやりたいけどこのバイブはやっぱりマズい
度々スイッチを入れられたら今みたいに先輩に不審がられてしまう
—話をつけてバイブを外すしかないと思った私はヤツの後を追った



震えてた？

大丈夫？
ちよっと
休もうか

あ、あ...



大丈夫ですっ！

ち、ちよっと
立ち眩んだ
だけで：

立ち眩み？
休まないっ

あつ、あつ
ホント大丈夫
なんでっ

もう治り
ましたっ！

でも...

ハハ、ちゃんと来てくれたか

無視されんじゃねえかと思っただぜ

そうしたかったけど

これ以上チョツカイ出されたくないのっ

もうこんなの付けてられないから外すって言いに来たのよ

とにかくもう外すわよっ

付いて来るのもやめなさいよっ!

まあ、いいぜ外しても

けどよ

それならオレが外してやるよ

ちよ、ちよと!

自分で外すわよっやめてっ

へんなこと考えてんじやないでしようね

やめてっやめてったらっ

わざわざそれ言いに来たってか?

何だかんだ言ってもマジメだよなあ桃香って

ズイッ

…へへ
本当はそれだけじゃねえんだろ

そ、それだけよっ

半ば予想してたけど
結局こうなってしまった

ん
んあつ

グチャッ
グチャッ

けどよお
やっぱ納得
いかねえよなあ
あんな冴えねえ男の
どこがいつてんだ？

アンタみたいに
無神経じゃない
ところよ

だからって
それだけじゃ
満足できねえ
んじゃねえのお

あんなのと
別れてオレの
彼女になれよ

はあ？

バカじゃないの
私はアンタのこと
なんて大キライよっ
アンタの彼女に
なったりするわけ
ないでしょ

とか言っても
セックスの相性
バツグンだぜ？

あんなヤツより
よっぽど
気持ちイイだろ
ここへもオレの
チンポが欲しくて
付いて来たんだろ

ちがうし
気持ちよくもないっ
セックスしてるからって
勘違いしないでっ

私はこんなこと
望んでないし
先輩は：

：もういい
無駄な話しないで
さっさと終わらせてっ
誰か来たらどうすんのよ

こんなセックスのこと
しか考えてないヤツと
先輩の話はしたくない：
先輩は部活ばかりだった
私の周りには居なかった
思いやりがあつて
気遣いができて
私のことを真面目に
考えてくれる人で：

：だめだっ、その先輩に
隠れてこんなことしてる
だけでもサイテーなのに
私もっ、もうっ

う
ううう

う

へへ、彼氏がいい
とか言っという
もういきそうに
なってんじゃない？

オレがイヤ
ならいったり
すんなよな

他のチンポで
イクなんて
彼氏が許しちゃ
くれねえぜ？

だ、だから
それとこれとはあ..
う...ううっ！

イクうっ

くううっ

うううううーっ！

ぶるるるる

バイブで既に高まっていたこともあり私は早々にイってしまった
気持ちと身体の反応は別物だとこれまでで既に思い知らされている
：先輩を近くで待たせているこの状況でイクのはさすがに罪悪感で
キツかったがそれでも身体は快感に震えてしまっていた



ババカ言っ
ないで早く
終わらせて
先輩が待つ
るのに:

オレ好みの
エロい身体に
なってんぜ桃香

へへ、ローション無し
でケツ穴も入るよう
になったじゃん

!
ちがうっ
こんなの
無理やりっ



どっちも
いいわけ
ないでしょ

先輩待たせ
てるのよっ

この前
みたいにつ

ガバ



おっと!
そうは
いかねえ

ちよっ、
離してっ!

選ばねえなら
オレが決めんぜ

ガバ

イヤっ
やだっ

うあっ

あっ

あっ



わかった
わかった
それで
どっちだよ?

ケツとマンコ
どっちに出して
欲しんだ?

えっ!?

ヤバっ
考えてなかった
けどここで出さ
れるのはマズいっ

ここへ来てからもう十分?十五分?とにかく気がかり
焦って迂闊にもそれを忘れていたのにこのとき気付いた!

マンコ
にすんぜっ

彼氏見たら
マンコに出し
たくなつたっ

バイブの代わりに
オレのザーメンで
いっぱいにして
やんよっ

彼氏の前で
孕んじまえっ！

あひいっ！

あっ！

ああっ

ダメっ！

ひ！

ひっ！

おふう！

あぁっ！
ぐううう！

初めて好きな人の腕の中でいった快感の余韻を大切にしたいのに
それすらも内尻とのセックスで強引に上書きされてしまっていた。

内尻に中出しされた後
私は慌てて先輩のところに戻った



そして遅くなった言い訳をして
何事もなかったかのようにデートを続けたけど…

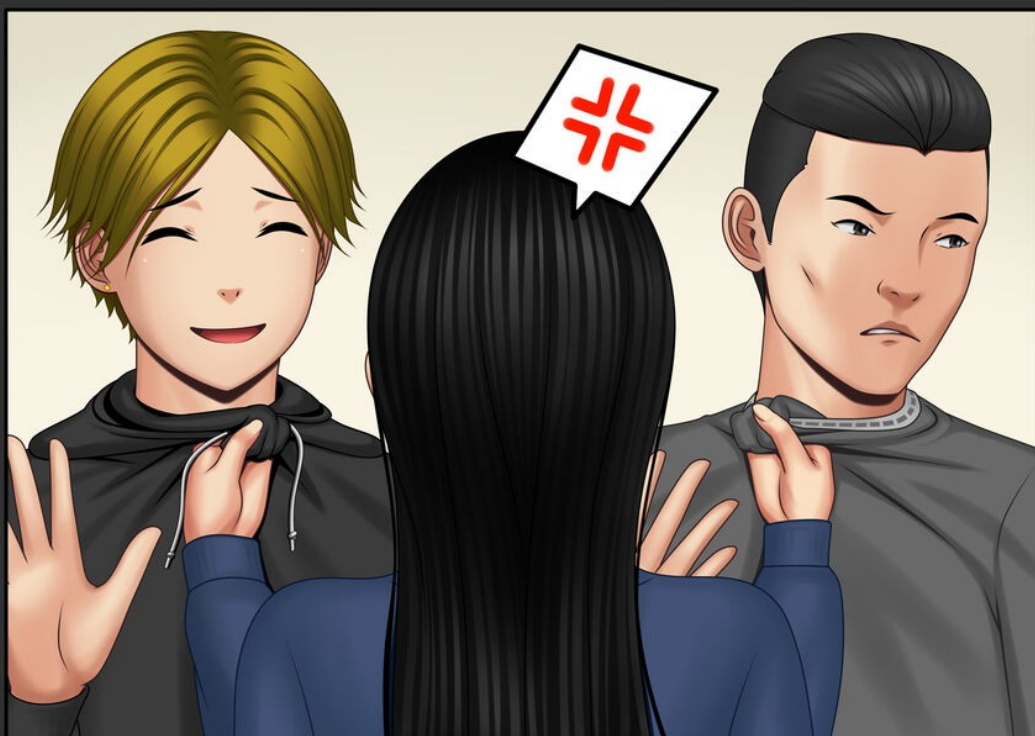


罪悪感に加え下腹部に残るセックスの余韻と
拭っておいたにもかかわらず膣の奥から
垂れ出してくる内尻の精液が気になって…
(先輩も私を気遣ってくれたようで落ち着きなかった)

結局とても楽しむどころではなくなっていました…

楽しみにしていた先輩とのイベントまで台無しにされたら
いくら何でも許せるわけないっ！

その後、頭にきた私は後先を考えずブチキレてしまい



その結果、それからは竿口の部屋以外で
道具を使うようなムチャはしないと約束させることができた

だけどヤツらに譲歩させられたのはそこまで――

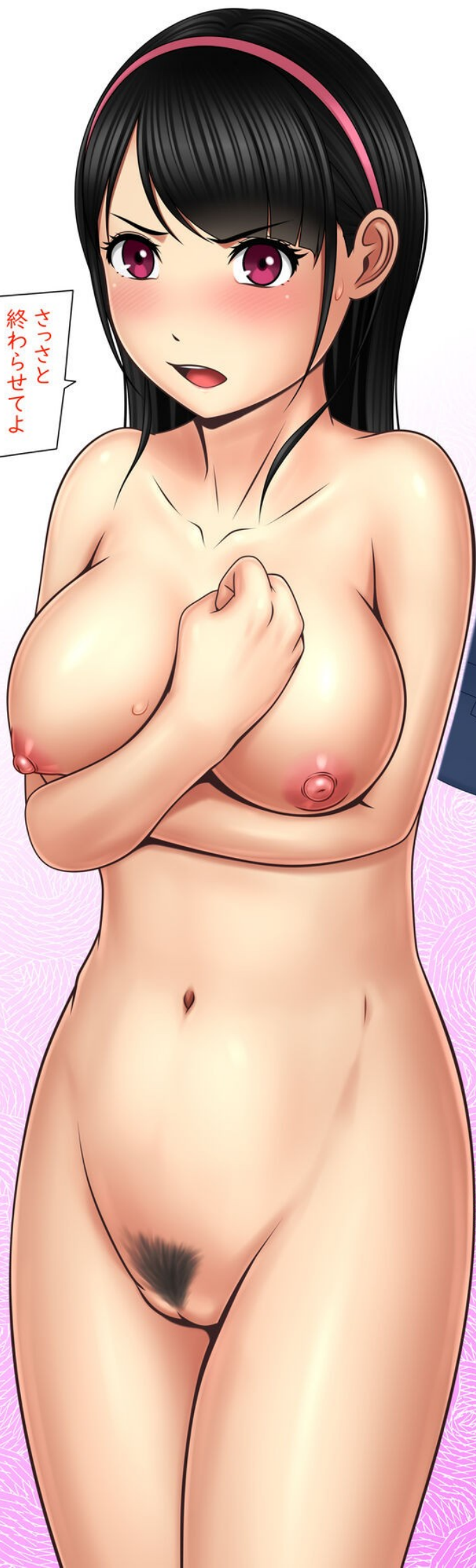
それからの期間は
学校でヤツらに手出し
されることがなくなり
ひと安心できたけど

また
明日っ

さっさと
終わらせてよ

弱味を握られている状況に変わりはなく
約束を守らせる為に放課後になると
秘かに竿口の部屋へ出向く毎日：

やはり自分の身体を使って
ヤツらを黙らせるしかなくて



毎日のように顔を合わせる
クラスメイトの前で全裸に
なるばかりか

屈辱的な行為をさせられ

くちゅ
くちゅ

おぶう

セックスの相手を強要され

身体を好き勝手に弄られ

避妊具なしで射精され：

とぎゅう

ぐにゅ
ぐにゅ

コイツらはどんだけ私に射精すれば気が済むのか
口惜しいから数えてなんかないけど日数からしてゆうに百回を超えてる
(ピルがなかったらいったい何回妊娠してるのか！)

はううっ

毎日のように男二人の
相手をさせられて
周回までされるのだから
堪ったものじゃなかった

ガクガクガク

ど
び
ぶ
う

ううう
ううう

グーグー

ど
ぶ
う

(部活で鍛えていたから)
体力に自信のあった私でも
ぐったりするような毎日！

ズブズブ

ハッ

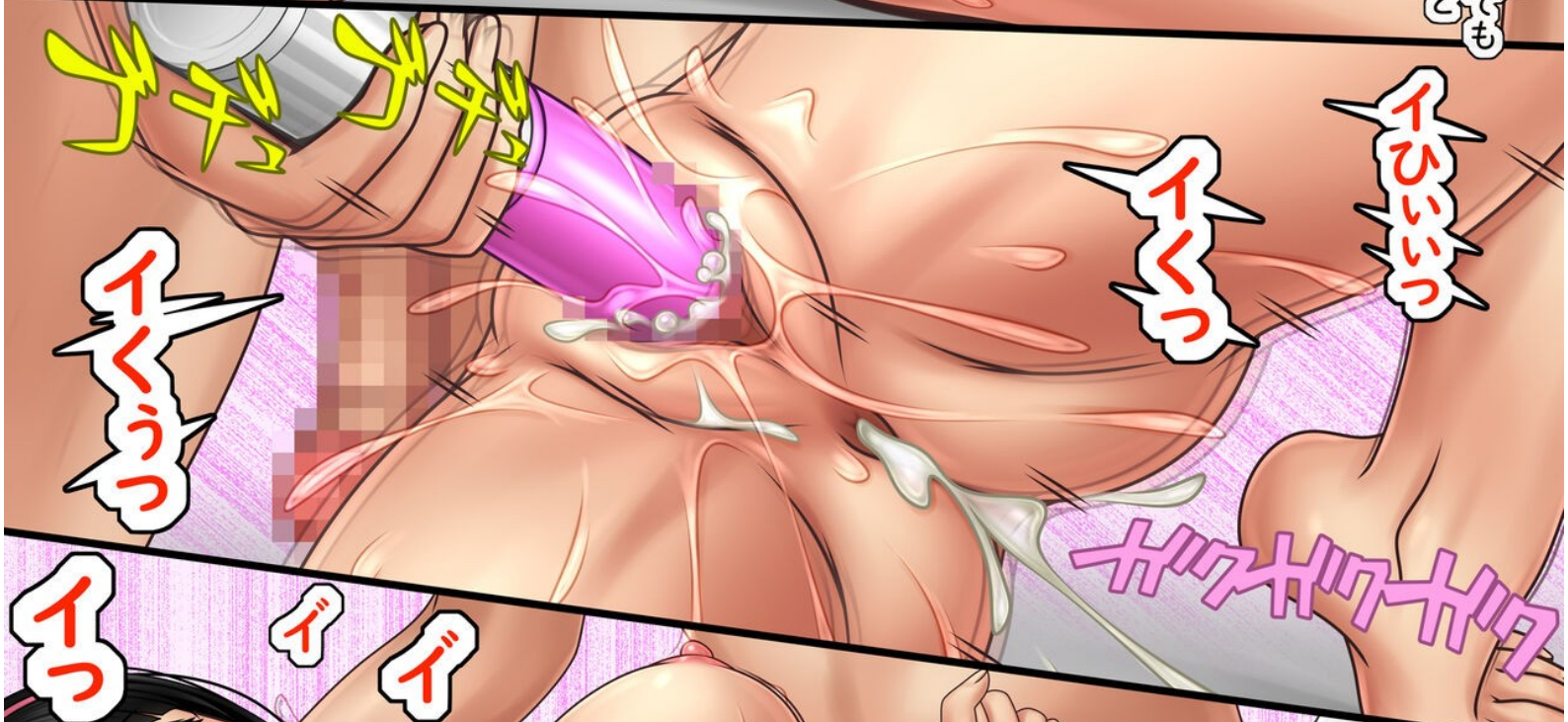
ハッ

ハッ



だけど体力面よりもっとキツかったのは
女を脅して犯すようなゲスな男が相手でも
身体が反応して快感を感じてしまうこと

とくにお尻に挿入されたり
道具を使われるようになってから
イク回数が飛躍的に増えてしまった



ヤツらと関係を
もつようになってから
私がいかにされた回数は
射精された数より
遥かに多くて……
(考えただけでもうかなりそう)

あひいつ♡

ひいつ♡♡♡

ハッ

ハッ

ハッ

こんなヤツらを相手にして気持ちよくなりたいたなんて絶対に思わないし出来るだけ感じないようにしたいと常に思ってたけど実際は全然抑えられなくて生理的に高まるような時期にいつこくされたりすると快感で思考停止してしまうくらい気持ちよくなってしまう

気を緩めたつもりなんてない、だけど回数を重ねるごとに明らかに歯止めが効かなくなっていて我を失うようなこともしばしば：こいうときは彼氏のことも頭から完全に消え去ってて後になって激しく後悔することになっていた

ユッガ ユッガ

グチャグチャ

もうこれまでに充分わかっていただけ
女を脅してセックスするようなゲスなヤツが相手だろうと
(いや、相手など関係ない他のクラスメイトとやったとしてもたぶん)
私の身体は気持ちよくなってしまう、そしてこのときのように……

いい
くうう!!



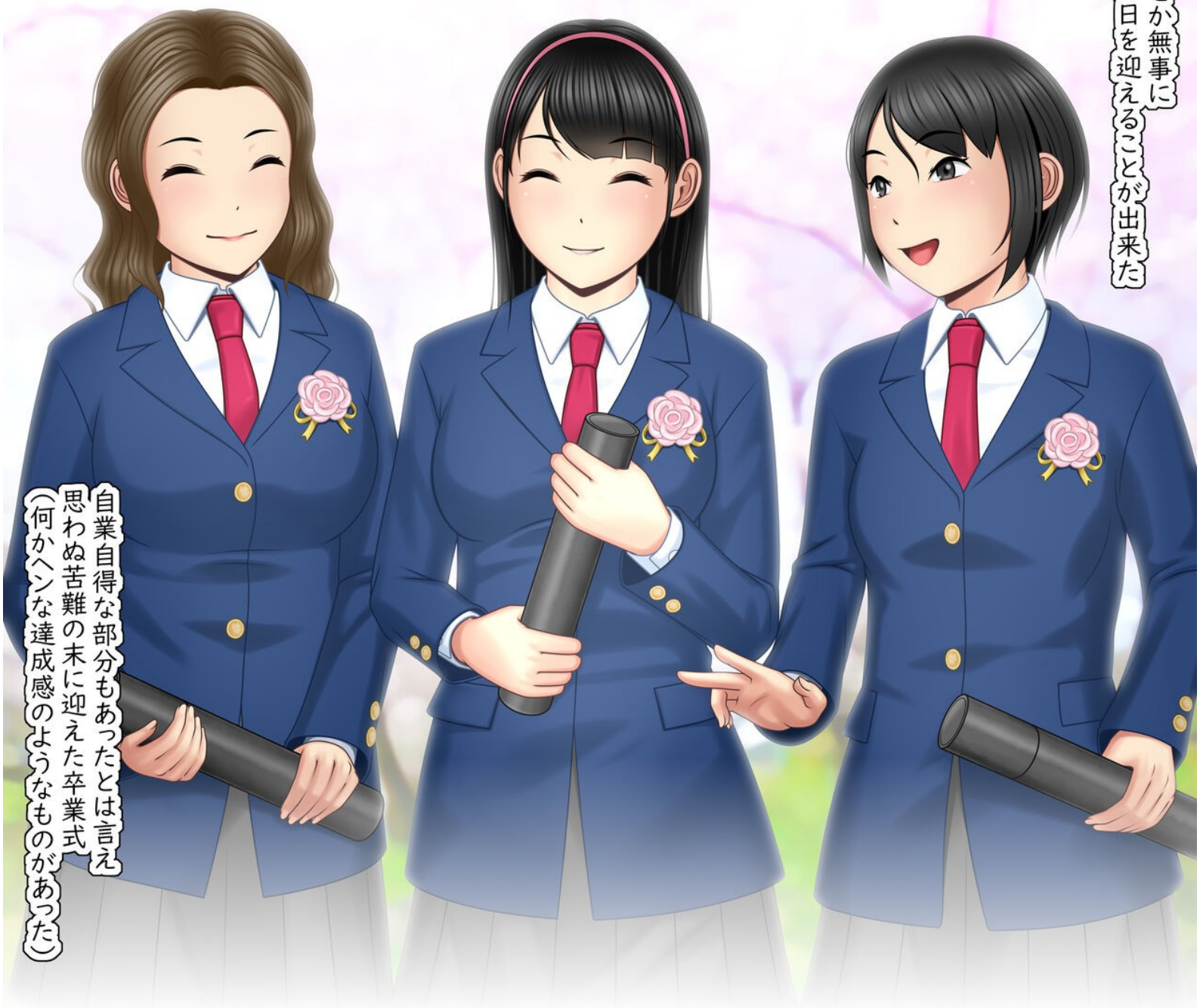
だけどこれは私の意思じゃないっ
私は好きになった人以外とセックスしたいなんて思わない!!

—そんな感情と身体の反応が
一致しないサイテーな日々を
結局コイツらとの約束通り
卒業の前日まで続けてしまった



—そしてようやく迎えることができた卒業の日

何とか無事に
この日を迎えることが出来た



自業自得な部分もあったとは言え
思わぬ苦難の末に迎えた卒業式
(何かへんな達成感のようなものがあつた)

そして式の後には
先輩が私を出迎えてくれた

だけど：
この日を無事に迎える為
私がクラスメイトに
身体を許していたことを
先輩は知らない

彼氏に絶対言えない秘密：

厄介な問題を残してくれた
アイツらとは昨日ー



出した出したあ
今日は三日分くらい
出したぜえーっ

だなあ・
気持ちよかつ
たぜえ、白北

ハア・これで
終わりだから

ちゃんと約束
守りなさいよ

あとはコイツらにも
約束を守らせるだけとなって

わかってるって
約束は守るぜ

今から全部
お前の目の前で
消してやるし
オレらとやって
たことは秘密に
しといてやるよ

けどまたオレと
やりたくなったら
連絡しろよな

ならない
わよっ!

ハハ、相変
わらずか

まあ桃香とはしこたま
やったしもういいか
そろそろ別の女と・

ハ

何よそれっ
最後まで
ムカつくヤツ!

このあと竿口の言う通り動画とか証拠になるものを全て目の前で消してもらい
私も連絡手段とかヤツらに関するものを即座に消去してやった!
(出来るなら記憶ごと消去したいところだ!)

本当に消したのが全てでバックアップしてないかとか
今後関係も口外しないかとか(とくに口の軽い内尻)
不安は残ってもこれはもう信じるしかない

もし今後も私に関わるようなら
そのときは絶対許さないし社会的に抹殺してやる
(これは本気だしヤツらもそれはわかってるハズ)

そう念を押して私はアイツらと

キツパリと縁を切った!

二度と私に
関わらないでっ



アイツらと縁を切って卒業式も無事に迎えられた
だけど先輩との関係はこのままでいいのか答えが出せない・

アイツらとグダグダな関係にならずに済ませられたのは先輩の存在があったからだけど
先輩は交際中の私对其他の男とセックスしてたことを知れば許せないだろう
許されないことをしておきながら秘密にして付き合い続けるのは不誠実だし心苦しい

そうかと言って先輩に対する感情は変わってないのに(むしろアイツらとの比較でもっと好きになったくらい)
あんなゲスなヤツらのせいで先輩との関係を壊してしまうのは絶対に嫌だ
さんざんオモチャにされた挙句マゾ扱いまでされて(私はマゾなんかじゃないってのっ)
それでも我慢してきたのに・

我慢・そう、我慢してた
これからも先輩と付き合っていくには罪悪感と向き合わなくちゃならないけど
もう我慢しなくていいこともある

嫌なヤツらとセックスすることの嫌悪感に耐えていただけじゃなく
受け入れられない快感を堪えることも大きな我慢になっていた
(堪えきれずに我を失ったこともあったけど)

本来望ましいはずの快感
先輩が相手なら我慢の必要なんでない・

……

結局今回のことは罪悪感があるからといっても
とても先輩に話せるようなことじゃないし
いくら考えても今はまだ答えが出せない

それなら・



とりあえず今は快感と彼氏を一致させたいと思う



今後のことはそれから――

〔終〕

あの日…





具合の悪そうだった彼女がなかなか戻らなくて心配になり後を追って探しに行ったその先で見ってしまった：

彼女は人気がない暗がりにも年代だろう男性と二人でいた知り合いと偶然出会って立ち話をしているのかと思ったが

気になったのは二人が衣服(下半身)を整えているように見えたことまるで(考えたくないこと)をした後のように見えてしまった

そのときの自分はあまりの驚きに動揺してしまい声を掛けることもせず逃げるように待ち合わせ場所の休憩所に戻ってしまった：

その後ほどなくして休憩所に来た彼女

彼女におかしな様子はなくトイレが混んで遅くなったと言っていた困惑した自分はそんな彼女に見たことについて何も訊けなかった

真つ直ぐな性格の彼女が交際の相手の相手がいるのに遊びや金銭目的で別の男性と関係を持つなんてありえない、心変わりて別の男を好きになったのだとしたら秘密にしたりせずハッキリさせるだろう少なくともそう信じられる時間を自分達は重ねてきている

だけでもし自分の知らない彼女の秘密があるのだとしたら：たとえそうであっても自分の彼女に対する想いは変わらない彼女と出合い手助けしたことで自分は自信を持つことができたし時間を共有したことで結ばれた大切なパートナーなのだから

それでも彼女が自分以外の男性と関係を持つてるかもしれないと考えるとどうしても：どうしようもなく胸が苦しくなってしまう

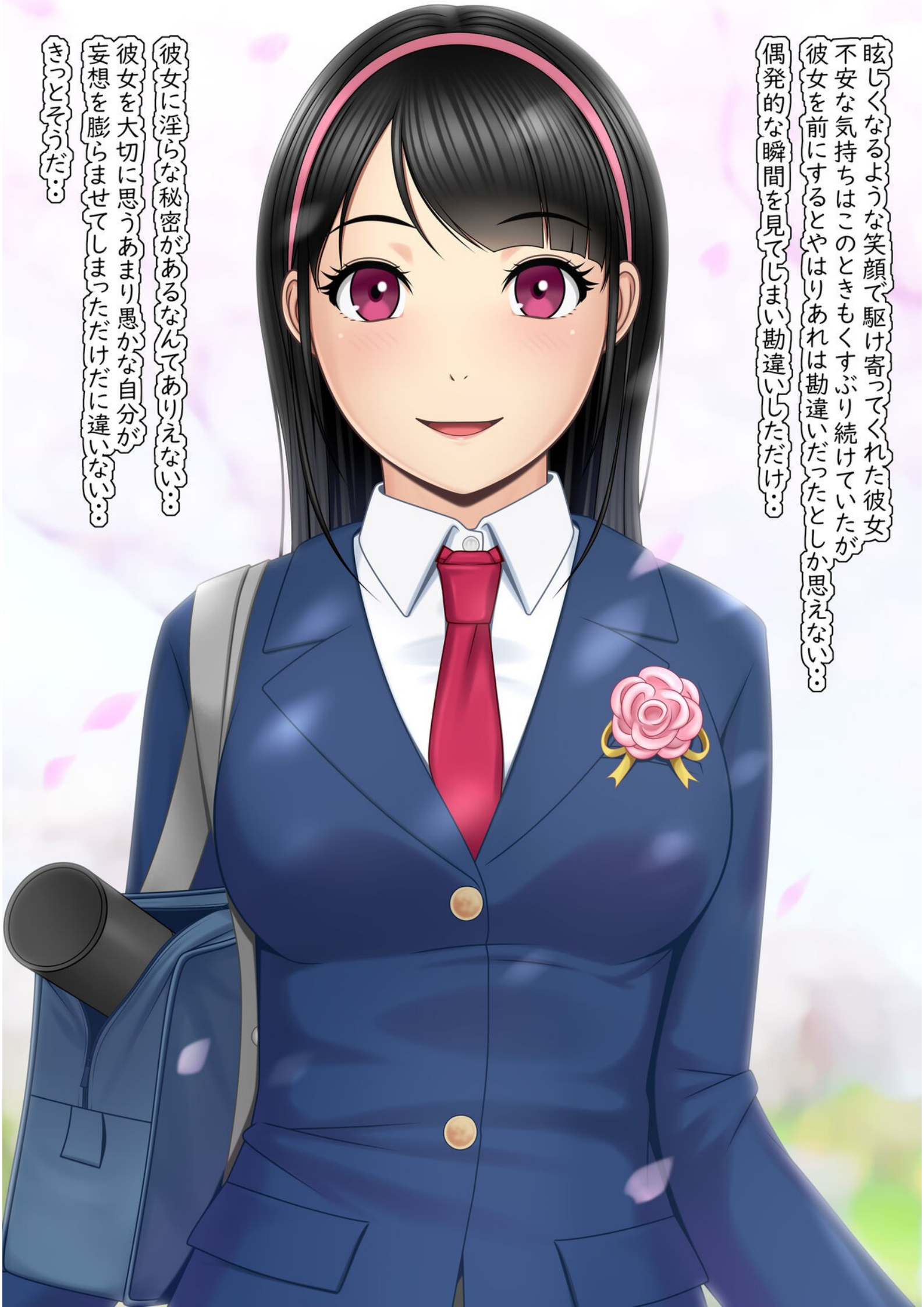
見たのは決定的なものじゃない自分は何か勘違いをしているに違いない彼女の人の柄からしてありえないことなのにどうしても不安が頭から離れない

この不安を取り除くには彼女にあのときのことを訊いてみるしかないがもし勘違いじゃなかったら・自分の気持ちは変わらなかったとしても二人の関係に良くない変化があるかもしれない、そんなことを考えるとやはり訊くのが怖くてあのときのことには訊けないまま日が過ぎてしまった

そして迎えた彼女の卒業式

眩しくなるような笑顔で駆け寄ってくれた彼女
不安な気持ちはこのときもくすぶり続けていたが
彼女を前にするとやはりあれは勘違いだったとは思えない
偶発的な瞬間を見てしまい勘違いしただけ

彼女に淫らな秘密があるなんてありえない
彼女を大切に思うあまり愚かな自分が
妄想を膨らませてしまっただけに違いない
きっとそうだ



きっと勘違いのはずだ：

白北桃香

しろ きた とう か

昨年まで陸上部で部活に打ち込んでいたがケガで早期引退してからは勉学に励んでいる
負けん気で強気な性格だが心を許せる相手には素直になれる(軽いツンデレ)
容姿の良さでよくモテるがガードは固かった
部活を辞めた後に知り合った優見先輩と付き合いようになりそれからは彼一筋
「やるときはやる」がモットー



誕生日プレゼント2



桃香の誕生日プレゼント

